

演目紹介

「二人三番叟」

「三番叟」は元来、五穀豊穡を祈る意味を持つものですが、転じて、多くはお祝いするときや開幕に際して演じられるものとなりました。文楽のみならず、能・歌舞伎・神楽など、日本の伝統芸能の中で演じられ、重視される儀礼曲です。乙女文楽では、二人で演じます。荘重な中にも華やかさのある演目です。



photo 熊谷香織



photo 伊東恭介

「増補大江山酒吞童子」

戻り橋の段

京都是一条の戻り橋。源頼光の四天王のひとり渡辺綱が戻り橋に差し掛かると、そこに美しい女（若菜）が佇んでいました。行き先を尋ねると五条までと答えます。それでは送ろうと一緒に歩き始めると、何と川面に映った姿は恐ろしい鬼の姿でした。綱は「魔性の者、本性を現せ」と大立ち回りになります。大江山の鬼退治で有名な、渡辺綱を主人公とし、鬼女との出会いを描いた舞踊劇です。美女が一瞬にして鬼女に、そしてまたすぐ美女にもどる「ガブ」や、激しい立ち回りがみどころです。

photo 伊東恭介



乙女文楽とは？

「文楽」はユネスコ無形文化遺産にも登録された、日本を代表する伝統人形芝居。1体の人形を3人で操ることで、感情やしぐさを繊細に表現します。それに対し「乙女文楽」は、1人の人形遣いによって演じられます。昭和初期に文楽の人形遣い五世桐竹門造によって誕生し、1人で遣うために、人形の仕組みと操り方にさまざまな工夫がなされています。女性ばかりで演じられる華やかな舞台もみどころです。

ひとみ座乙女文楽

創始者桐竹門造の直弟子である故・桐竹智恵子に40年以上にわたり教えを受けて、国内はもとより世界各地で公演し、近年は子ども向けの教室の開催など、地域に根ざした活動にも力を入れています。また智恵子師亡き後は2010年より文学の桐竹勤十郎師に指導を仰いでいます。メンバーは人形劇団ひとみ座女性演技者です。

バックヤードツアー参加者募集!

終演後～（30分程度）先着30名

「乙女文楽バックヤードツアー希望」と書いて、郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号を明記の上、市民会館までFAXしてください。当選者には後日連絡いたします。FAX0182-32-7871